

【10】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

農業経営基盤強化準備金の取り崩しについて

「農業簿記11」の合計残高試算表では表示できません。育成牛・肥育牛生産費統計調査票 [交雑種肥育牛] 「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

調査票 P12

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>(購入金額から補助金を 控除した額を記入してくだ さい。)</small>	農業経営基盤 強化準備金 (円) <small>(農業機械の購入のために 取り崩した準備金の額を記 入してください。)</small>	修繕費 (円) <small>(当年の当該農業機械や 生産管理機器の修繕費を 記入してください。)</small>	保険料 (円) <small>(当年の当該農業機 械の保険料を記入し てください。)</small>	軽自動車税 (円) <small>(当年の当該 農業機械の軽 自動車税を記 入してくださ い。)</small>	負担割合 (%)		年内異動状況	
						年 (西暦)	月						調査対象畜	自給牧草	異動 コード	売却金額 (円) <small>(廃棄(無償譲渡を含む。)した 場合は、「0(ゼロ)」)</small>
売却の例	1	農用トラクター	56	○●	5	2005	3	800000			8000	2400	100	1	30000	
廃棄等の例	2	集草機	366	○●	5	2011	2	300000					100	2	0	
	3	自動給餌機	486	○●	7	2016	7	600000	300000	200000			100			
購入の例	14	農用トラクター	56	○●		2019	2	1500000					100			
リースの例	15	ローダー(リース)	496	○●												

農業機械等の取得年月、取得価格、売却金額

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

コード 事業区分 資産区分	資産名称 摘要					取得価格 交付金等 差引取得 償却基礎金額	売却価額 売却損益 期首帳簿価額 期末帳簿価額
	取得年月日 売却除去日	償却方法 事業専用	耐用年数 数量	償却率 残存1	期間 残存2		
1 農業 農業機械	農用トラクター					800,000	30,000
	2005/3						
2 農業 農業機械	集草機					300,000	
	2011/2						
3 農業 機械装置	自動給餌機					600,000	
	2016/7						
4 農業 機械装置	農用トラクター					1,500,000	
	2019/2						

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。

損益計算書 全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
修繕費					
農具修繕費				20,000	
【販売費一般管理費】					
損害保険料					
農業機械保険料				8,000	
租税 公課					
軽・自動車税(トラクター)				2,400	

軽自動車税

租税公課の補助科目として設定した、軽・自動車税を参照します。ただし、合算されている場合は、元帳に遡って詳細を確認します。

【11】 農具の購入費等

調査票 P13

・ 農具・農業被服等の購入費

名称等	金額（円）	負担割合（%）		内容例示
		調査対象畜	自給牧草	
(計)	30500	90	10	
農具・農業被服等の購入費				【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

・ 生産管理関係の費用

名称等	金額（円）	負担割合（%）		内容例示
		調査対象畜	自給牧草	
(計)				
生産管理関係の費用				【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料
コピー用紙、インク	3000	20		
筆記用具	1000	50	30	
携帯電話代	24000	10		
研修の参加料	3000	80	20	

農具・農業被服等の購入費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。「農業簿記11」では、「農具費」と「作業用衣料費」の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
農具費				23,500	
作業用衣料費				7,000	

生産管理関係の費用

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。「農業簿記11」では、「研修費」、「事務消耗品費」及び「通信費」等の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
旅費交通費					
研修費				3,000	
接待交際費					
事務消耗品費				4,000	
通信費				24,000	
新聞図書費					

【12】 作業別労働時間

調査票 P14

1 調査対象畜に関する定型作業

氏名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		その他の飼育作業	
				時間	分	時間	分	時間	分
農林 太郎	男	56	家族雇用	2	0	1	0	1	0
				30		60		120	
花子	女	54	家族雇用	2	00			3	0
				300				60	
一郎	男	28	家族雇用	2	00	2	0		
				30		100			
雇用者 (常雇い)	女		家族雇用	2	00	1	0	1	30
				240		100		60	
雇用者 (ヘルパー2名)	男		家族雇用	2	0				
				15					
雇用者 (ゆい)	女		家族雇用	3	0	1	0	1	0
				5		5		5	

労働時間

「農業簿記11」では対応しておりません。元帳に数量を入力する事は可能ですが、計算はされません。
育成牛・肥育牛生産費統計調査票〔交雑種肥育牛〕「調査票の記入の仕方」を参照し
ご記入願います。

2 調査対象畜に関する1以外の作業

氏名	性別	年齢	家族・雇用	作業名				
				(牧草生産)	(集会出席)	(建物修繕)	(簿記記帳)	(資材購入)
農林 太郎	男		家族雇用	120	10	15		
花子	女		家族雇用				30	
二郎	男	25	家族雇用	120	5	8		10
雇用者(年雇)	女		家族雇用	150				50

支払賃金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。
この事例では、雇人費の補助科目として、「男雇用」、「女雇用」を設定しています。

損益計算書

勘定科目	全部門				
	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
雇人費				2,800,000	
男雇用				2,500,000	
女雇用				300,000	

3 支払賃金

区分	金額(円)	負担割合(%)	
		調査対象畜	自給牧草
男	25000000	90	10
女	30000000	100	

【13】地代（所有地及び借入地）

調査票 P14

1 所有地

ほ場名	ほ場の例示	実面積	負担割合 (%)	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地	60	50	20
運動場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。）に利用した土地	150	70 60	
牧草栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地	1180 980		100
放牧地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地	500	100	
採草地	耕地以外で過去1年間に調査対象畜用の野草を採草した土地			

数量の入力（実面積等）

「農業簿記11」では対応しておりません。
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。
育成牛・肥育牛生産費統計調査票【交雑種肥育牛】「調査票の記入の仕方」を参照し
ご記入願います。

2 借入地

ほ場名	実面積	支払地代 (円)	負担割合 (%)	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地				
運動場				
牧草栽培	400 350	1500000		100
放牧地				
採草地				

支払地代

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・肉牛部門・損益計算書を参照します。
この事例では、支払地代の補助科目として、「牧草栽培」「採草地」等を設定しています。

損益計算書

肉牛部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
支払地代				150,000	
牧草栽培				150,000	
採草地					